

# 基準値一覽

---

## 目 次

血球数・血液像	1
凝固・線溶	2
リンパ球サブセット	2
生化学	3
脳脊髄液	7
内分泌	8
腫瘍マーカー	10
自己抗体	11
感染症	11
尿沈査	12
尿定性	12
血液ガス	13

---

2001年	9月	1日	初版
2003年	4月	1日	一部改訂
2003年	12月	12日	一部改訂
2004年	4月	1日	一部改訂
2004年	11月	1日	一部改訂
2005年	8月	1日	一部改訂
2005年	12月	1日	一部改訂
2006年	4月	7日	一部改訂
2006年	10月	1日	一部改訂
2007年	3月	1日	一部改訂
2008年	4月	1日	一部改訂
2009年	4月	1日	一部改訂
2010年	1月	15日	一部改訂
2010年	7月	1日	一部改訂
2010年	10月	1日	一部改訂
2014年	2月	21日	一部改訂
2014年	7月	1日	一部改訂
2018年	1月	26日	一部改訂

## 血球数・血液像

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
白血球数	3.5～9.0	$\times 10^3 / \mu\text{L}$	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983
赤血球数	♂430～570 ♀380～500	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983
ヘモグロビン	♂13.5～17.6 ♀11.3～15.2	g/dL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983
ヘマトクリット値	♂40.0～52.0 ♀33.0～45.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
血小板数	13.0～37.0	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983
平均赤血球容積(MCV)	80～101	fL	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983
平均赤血球血色素量(MCH)	27.0～34.0	pg	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
平均赤血球血色素濃度(MCHC)	31.0～36.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983 (分析機対応にて少数点1位表示)
赤血球容積分布幅(RDW)	11.0～16.0	%	
平均血小板容積(MPV)	9.0～13.0	fL	
血小板容積分布幅(PDW)	9.0～17.0	%	

## 血液像(自動分析)

好中球	40.0～80.0	%	シーメンス機器取扱説明書
リンパ球	20.0～50.0	%	シーメンス機器取扱説明書
単球	2.0～12.0	%	シーメンス機器取扱説明書
好酸球	1.0～10.0	%	シーメンス機器取扱説明書
好塩基球	0.0～3.0	%	シーメンス機器取扱説明書
網状赤血球	0.5～2.5	%	シーメンス機器取扱説明書

## 血液像(目視)

桿状核球	0.0～15.0	%	日本臨床衛生検査技師会血液正常値設定委員会. 1983 (小数点1位表示)
分節核球	30.0～70.0	%	
リンパ球	20.0～55.0	%	
単球	0.0～12.0	%	
好酸球	0.0～10.0	%	
好塩基球	0.0～3.0	%	
血沈 1hr	♂1～10 ♀3～15	mm	臨床検査法提要改訂第31版. 1998

## 凝固・線溶

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
トロンボテスト(TT)	70以上	%	三光純薬の試薬説明書
プロトロンビン時間(PT)	70~130	%	シスメックスの試薬説明書
プロトロンビン時間 INR	0.90~1.10		血液凝固検査ハンドブック. 1992 (分析機対応にて小数点2位表示)
活性部分トロンボプラスチン時間(APTT)	30.0~40.0	秒	臨床検査法提要改訂第31版. 1998 (分析機対応にて小数点1位表示)
フィブリノゲン(Fib)	200~400	mg/dL	臨床検査法提要改訂第33版. 2010
出血時間	1~3	分	臨床検査法提要改訂第31版. 1998
全血凝固時間	8~12	分	臨床検査法提要改訂第31版. 1998
FDP	5以下	μg/mL	臨床検査法提要改訂第33版. 2010
Dダイマー	1.0未満	μg/mL	文献: 吉田忠夫他: 医学と薬学 54(2) 219-222 2005 より引用
アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)	80~130	%	臨床検査法提要改訂第33版. 2010
血小板停滞率(血小板粘着能)	15.0~70.0	%	臨床検査法提要改訂第31版. 1998 (小数点1位表示)

## リンパ球サブセット

T・B細胞百分率			
CD3	55.0~89.0	%	臨床検査法提要改訂第31版. 1998
CD19	4.0~23.0	%	臨床検査法提要改訂第31版. 1998
T細胞サブセット			
CD4	27.0~60.0	%	臨床検査法提要改訂第31版. 1998
CD8	16.0~42.0	%	臨床検査法提要改訂第31版. 1998

生化学

(試料名のない項目は血清の検査値を示す)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
総タンパク	6.7~8.3	g/dl	ビウレット(Biuret)法 金井泉、金井正光二臨床検査提要第31版:1998 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
アルブミン	3.8~5.3	g/dl	ブロムクレゾールパープル(BCP)法 金井泉、金井正光; 臨床検査提要第32版:2005 試薬メーカーカイノス社内データ
T-Bil	0.2~1.2	mg/dl	酵素法 試薬メーカーアルフレッサファーマ社内データ 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
D-BiI	0.0~0.3	mg/dl	酵素法 試薬メーカーアルフレッサファーマ社内データ 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
TTT	0.0~5.0	U	チモール混濁反応 金井泉、他; 臨床検査提要第29版、712:1983
ZTT	4.0~12.0	U	硫酸亜鉛混濁反応 金井泉; 臨床検査法提要29版, 711. 1983
AST	7~38	IU/L	JSCC 標準化対応法 日本臨床化学会臨床化学 18、231:1989 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
ALT	4~43	IU/L	JSCC 標準化対応法 日本臨床化学会臨床化学 18、255:1989 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
LDH	119~229	IU/L	JSCC 標準化対応法 豊原美津子、福岡県5病院会; 臨床化学. 27 補冊2 p270~ 280. 1998 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
ALP	104~338	IU/L	JSCC 標準化対応法 桑克彦; 医学検査. 42(2), 188, 1993 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
γ-GTP	10~63	IU/L	JSCC 標準化対応法 木下幸子、他福岡県5病院会; 臨床化学 24 補冊2 p250~ 254:1995 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
Ch-E	185~431	IU/L	JSCC 標準化対応法 山道宏、他臨床検査 29(7)、825:1985 自施設追跡調査統計にて確認. 2002

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CPK	44～208	IU/L	JSCC 標準化対応法 木下幸子、他福岡県 5 病院会:臨床化学 24 補冊 2 p250～ 254:1995 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
CPK-MB	7～25	IU/L	免疫阻害法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社) より
CK-MB 蛋白	0.6～3.5	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社) より
トロポニン T	0.014 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社) より
ミオグロビン	20～82	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社) より
アミラーゼ	37～120	IU/L	JSCC 標準化対応法 (GAL-G5-4NP 法) アルフレッサファーマ社内データ 酒井寛、他 ; 医学と薬学 34(1), p189～195:1995 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
尿アミラーゼ	8～550	IU/L	JSCC 標準化対応法 (GAL-G5-4NP 法) アルフレッサファーマ社内データ
リパーゼ	6～48	IU/L	合成基質 (DGGMR) レート法 アルフレッサファーマ社内データ:2005
尿 NAG	0～11.5	IU/L	6-メチル-2-ピリジル-N-アセチル-1-チオ-β-D-グル コサミニド (MPT-NAG) 法ニッポー試薬説明書
BUN	8～20	mg/dl	ウレアーゼ・GLDH・ICDH 消去法 金井正光;臨床検査法提要第 30 版 149 508～512 : 1993 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
クレアチニン	♂0.61～1.04 ♀0.47～0.79	mg/dl	酵素法 大沢進;MedicalTechnology26389:1998 市原文雄;臨床化学 24(補冊)229:1995
尿酸	♂4.0～7.0 ♀3.0～5.5	mg/dl	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 2002 自施設追跡調査統計. 2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血漿アンモニア	12～66	μg/dl	酵素法 日本臨床増刊 683P478:1995
総コレステロール	130～219	mg/dl	コレステロール酸化酵素法 日臨技臨床検査精度管理調査報告書:2001 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002
HDL コレステロール	40～104	mg/dl	化学修飾酵素法 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002 試薬メーカー協和メディックス社内データ;1997 自施設遑跡調査統計にて確認. 2002
中性脂肪	30～149	mg/dl	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2002 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
LDL コレステロール	70～139	mg/dl	直接法 日本臨床増刊号広範囲血液・尿化学検査 免疫学的検査 2 第 6 版:2004
Na	139～146	mEq/l	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
K	3.7～4.8	mEq/l	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
Cl	101～109	mEq/l	イオン選択電極希釈法 自施設追跡調査統計:2002 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
Ca	8.5～10.5	mg/dl	アルセナゾⅢ法 試薬メーカーカイノス社内データ 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 32 版:2005
P	2.5～4.5	mg/dl	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
Mg	1.8～2.3	mg/dl	酵素法 金井正光:臨床検査提要第 32 版:574-577(2005)
鉄	♂54～181 ♀43～172	μg/dl	Nitroso-PSAP 法(直接比色法) 山田満廣、他 日本臨床検査自動化学会誌 13(5)、659:1988 自施設追跡調査統計にて確認. 2002

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血糖	60～110	mg/dl	GOD 電極法 日本糖尿病学会の診断基準より設定
HbA1c	4.3～ 5.8(JDS) 4.6～6.2 (NGSP)	%	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法 島健二ほか;糖尿病, 37. 855-864. 1994
蛋白分画			キャピラリー電気泳動法
A/G	1.52～2.5		フィンガルリング社設定
Albmine	55.8～66.1	%	
α1-glob.	2.9～4.9	%	
α2-glob,	7.1～11.8	%	
β1-glob.	4.7～7.2	%	
β2-glob.	3.2～6.5	%	
γ-glob.	11.1～18.8	%	
CRP	0～0.3	mg/dl	ラテックス凝集法 試薬メーカーデンカ生研社内データ 自施設追跡調査統計にて確認, 2002
IgG	870～1700	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101号 207-209:1996
IgA	110～410	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101号 207-209:1996
IgM	35～220	mg/dl	免疫比濁法 河合忠;臨床病理臨時増刊号特集 101号 207-209:1996
IgE	232 以下	IU/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2006. 8
C3	69～128	mg/dl	免疫比濁法 菅野剛史;臨床検査機器・試薬. 20(6), 817-821:1997
C4	14～36	mg/dl	免疫比濁法 菅野剛史;臨床検査機器・試薬. 20(6), 817-821:1997
β2MG	0.5～2.0	mg/l	ラテックス比濁法 日本臨床 57 卷. 増刊号(1). 236-238:1999

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
ビタミン B12	233～914	pg/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
葉酸	3.6～12.9	ng/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
sIL-2R	332.9～586.7	U/ml	ELISA 法 協和メデックス社試薬説明書
プレアルブミン	♂23～42 ♀22～34	mg/dl	免疫比濁法 ニッポーメディカル試薬説明書 河合忠他;臨床病理(特集 101 号). 207-209. 1996
レチノール結合蛋白	♂3.6～7.2 ♀2.2～5.3	mg/dl	ラテックス免疫比濁法 ニッポーメディカル試薬説明書 平林庸司他;医学と薬学. 45(6). 1031-1039. 2001
トランスフェリン	♂190～300 ♀200～340	mg/dl	免疫比濁法 ニッポーメディカル試薬説明書 河合忠他;臨床病理(特集 101 号). 207-209. 1996
血漿浸透圧	275～290	mOsm/l	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
尿浸透圧	50～1300	mOsm/l	金井泉;臨床検査法提要. 改定 31 版. 1998

#### 脳脊髄液

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
髄液細胞数	0/3～15/3	/ $\mu$ l	
髄液比重	1.005～1.007		金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
髄液蛋白量	10～40	mg/dl	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
髄液糖量	50～75	mg/dl	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
髄液 Cl	120～125	mEq/l	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
髄液 LD	<25	mU/ml	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005



ホルモン

項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
TSH	0.55~4.78	$\mu$ IU/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
FT3	2.13~4.07	pg/ml	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
FT4	0.95~1.74	ng/dl	化学発光免疫測定法 シーメンス試薬説明書
NT-BNP	125 (心不全除外値)	pg/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシユ試薬説明書 2006.12

コルチゾール( $\mu$ g/dL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	体採取時間	検体数	基準範囲
血清	午前 10 時以前	150 例	3.7~19.4
血清	午後 5 時以降	150 例	2.9~17.3
尿	24 時間蓄尿	128 例	4.3~176.0/24 時間

LH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	199 例	0.57~12.07
(月経周期正常女性)		
卵胞期	303	1.8~11.78
中間期ピーク	64	7.59~89.08
黄体期	294	0.56~14
ホルモン補充治療を受けていない 閉経後の女性	124	5.16~61.99

FSH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボット社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	54 例	1.37~13.58
(月経周期正常女性)		
卵胞期	136 例	3.35~21.63
中間期ピーク	24 例	4.97~20.82
黄体期	87 例	1.11~13.99
閉経後の女性	41 例	2.58~150.53

PRL(ng/mL)化学発光免疫測定法(シーメンス社試薬説明書)

	検体数	基準範囲

卵胞期	27 例	4～26.8
排卵期	21 例	6.0～40.9
黄体期	17 例	1.2～33.6
有経女性	65 例	3.5～32.7
閉経女性	57 例	0.6～18.5
男性	72 例	3.7～16.3

E2 (p g /mL) 化学発光免疫測定法 (アボット社試薬説明書)

	検体数	95%範囲
男性	101 例	11～44
(月経周期正常女性)		
卵胞期	385 例	21～251
中間期	105 例	38～649
黄体期	466 例	21～312
(閉経後の女性)		
ホルモン補充療法なし	50 例	<10～28
ホルモン補充療法中	22 例	<10～144

## 腫瘍マーカー

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CEA	3,4 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
AFP	6,2 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認 2002
CA19-9	37.0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
CA125	35.0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認. 2002
CA15-3	25,0 以下	U/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.7 自施設追跡調査統計にて確認 2002
PSA	4.000 以下	ng/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書
フェリチン	♂39.9~465.0 ♀6.2~138.0	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
NSE	15.2 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
シフラ	2.8 以下	ng/ml	電気化学発光免疫測定法 ロシュ試薬説明書 2002.12
SCC 抗原	1.5 以下	ng/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書
p53 抗体	1.30 以下	U/ml	ELISA 法 MBL 社試薬説明書

## 自己抗体

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
RHF	0～20	IU/ml	ラテックス免疫比濁法 試薬メーカーヤトロン社内データ
CH50	30～50	U/ml	リボソーム免疫測定法 試薬メーカー和光純薬社内データ:1996
抗 DNA-ds 抗体	0～12	IU/ml	ELISA 法 試薬メーカーMBL 統計データ
抗核抗体	0.0～20.0		ELISA 法 試薬メーカーMBL 統計データ
寒冷凝集反応	16 以下	倍	金井 泉;臨床検査提要. 改定 31 版. 1998

## 感染症

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
ASO	16 才以下 0～ 250 16 才以上 0～ 200	IU/ml	ラテックス凝集法 加納像次郎;日本臨床増刊号下 121-125. 1995 試薬メーカーヤトロン社内データ
HBs 抗原	0.05 未満を陰 性	IU/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
HBs 抗体	10.0 未満を陰 性	mIU/ml	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
RPR	1.0 未満を陰性	R. U.	ラテックス比濁法 極東製薬試薬説明書 2002, 12
TPHA (TPLA)	20 未満を陰性	T. U.	ラテックス比濁法 極東製薬試薬説明書 2002. 12
HIV 定性検査	1.0 未満を陰性	S/CO	化学発光免疫測定法 アボット社試薬説明書 2007. 1
HTLV-1 抗体	陰性		試薬添付文書

尿検査(沈渣)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
赤血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010
白血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準協会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010
円柱	(-) 硝子円柱は正常でも出現する場 合がある	日本臨床検査標準協会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010

尿検査(定性)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
比重	1.005~1.030	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
PH	5.0~7.5	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
蛋白	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
糖	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ケトン体	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
潜血	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ウロビリノーゲン	(+)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ビリルビン	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
亜硝酸塩	(-)	月刊 MedicalTechnoiogy 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
白血球	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年

## 血液ガス

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
PH	7.35~7.45		
PCO2	35~45	mmHg	
PO2	70~100	mmHg	
SAT	90~100	%	